

花と
みどり、
美しさを
見つめよう



児童と生徒の図工・美術作品展

2025 **8/1** (金)・**2** (土)・**3** (日)
10:00▶17:00

開催場所: 国営昭和記念公園
花みどり文化センター
ギャラリー1:2

入場無料

学びの城の 美術展

学びの城とは、
菅生学園の校舎の名称です。

2025



菅生学園初等学校



東海大学菅生高等学校中等部

児童と生徒の図工・美術作品展

学びの城の 美術展 2025

花と
みどり、
美しさを
見つめよう



初等学校・中等部の児童・生徒作品を
「7つのセクションテーマ」にそって展示します。

1. 作る喜び、生きる喜び。

人は誰でもイメージをもって生きており、
創造には本来の喜びがある。
「作ることは生きること」。
人間だけがができる創造行為、それが芸術だといえます。

2. 見つめるまなざし

自然の造形、生命の輝き。

動植物がもつ美しさや驚き、そして感動。
子ども達は時間を忘れて目の前の対象と向き合う。
ただ一心に見つめることが、世界を知る第一歩だと考えます。

3. 広がる想い、心ひらいて。

無心に手を動かして生まれた作品に、未知の自分を発見し驚く。
あるいはまだ見ぬ世界に思いを馳せる。
想像力がわたし達を遥か遠くまで連れていきます。

4. デザインする心 — わたしだけの表現を。

どうしたらもっと美しくなるのか？もっとワクワクするのか？
手を使い、考え、試しながら、本当に作りたいもの、
心に響く自分だけの表現を探します。

5. 色彩は心の喜び。

赤・青・黄・緑…あふれる色彩。色彩は感情を解放する。
絵の具や色鉛筆、色砂などカラフルな画材を前に、
子ども達は喜び、感性を刺激されるのです。

6. なぜ描くのか？何を描くのか？

遥か2万年前のラスコー洞窟の壁画から
現代のマンガやアニメまで、人々の暮らしのそばには
いつも絵がありました。
人はなぜ描くのか？絵の魅力について考えてみます。

7. 美術史の名作に学ぶ。

ルネサンスの宗教壁画や日本の浮世絵、近現代の美術…
先人達の優れた作品をなぞってみることで、
わたし達は多くを感じ、学ぶことができます。

里山の自然が残る、あきる野菅生の地、緑豊かな丘陵地の一角にそびえる
“学びの城”で日々行われている美術の学び。日頃の学習の成果を、
この緑豊かな国営昭和記念公園・花みどり文化センターにて皆様にご
覧いただけることをとてもうれしく思います。

初等から中等部へと発達段階に応じた美術教育の中で、子ども達は
自由で豊かな想像力を発揮し、手を使い、考え、試しながら、日々の
体験や感動、そして自分自身を表現しています。ここに展示された美術
作品から、子ども達一人ひとりの姿を感じていただけたら幸いです。
ご来場をお待ちしております。

東海大学菅生高等学校中等部 美術科 藤田 俊哉
菅生学園初等学校 図工科 小松 佑将

2025 8/1 (金)・2 (土)・3 (日)

〔開催場所〕

国営昭和記念公園

花みどり文化センター ギャラリー 1・2

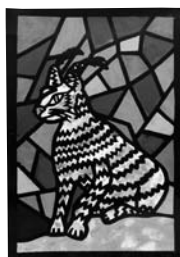
〔時間〕10:00～17:00

〈入場無料〉

花みどり文化センターまでのアクセス



- ・ JR立川駅北口より公園「あけぼの口」経由で徒歩約15分
- ・ 多摩都市モノレール立川北駅より公園「あけぼの口」経由で徒歩約13分
- ※ 公園内3箇所に有料駐車場有



菅生学園初等学校

TEL.042-559-9101 FAX.042-559-9120



東海大学菅生高等学校中等部

TEL.042-559-2411 FAX.042-559-2202

〒197-0801 東京都あきる野市菅生1468